

函館市認知症初期集中支援チームの活動状況

(平成30年度から令和7年1月まで)

(1) 事業対象者数 (年度および性別) (人)

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 <small>(※令和7年1月末時点)</small> | 合計 |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------------------------------|----------|
| 男性(人) | 3 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 10(43%) |
| 女性(人) | 7 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13(57%) |
| 合計(人) | 10 | 8 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 23(100%) |

(2) 事業対象者の状況 (訪問支援対象者の内訳) (人)

| | |
|---|----|
| 認知症疾患の臨床診断を受けていない | 22 |
| 医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の行動・症状が顕著で対応に苦慮している | 1 |

(3) 事業対象者の把握ルート (人)

| SOSネットワーク | 民生委員 | 水道業者 | 本人 | 配偶者のケアマネ | 郵便局 | ケアマネ | 家族 |
|-----------|------|------|----|----------|-----|------|----|
| 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 4 | 11 |

(4) 事業対象者へのチーム支援の実施結果 (人)

| チーム介入後 | | 支援終了時 | |
|----------|----|----------|----|
| 認知症専門医受診 | 15 | 在宅生活 | 10 |
| | | 認知症に伴い入院 | 2 |
| | | 一般病院に入院 | 1 |
| | | 死亡 | 1 |
| 一般病院に入院 | 3 | 一般病院に入院 | 2 |
| GH入所 | 1 | GH入所 | 1 |
| 受診拒否 | 3 | 在宅生活 | 3 |
| 死亡 | 1 | 死亡 | 1 |

※支援終了時在宅生活の13人の内訳

- ・サービスの利用(継続含む) 8人
- ・要介護認定まで 3人
- ・介護保険未申請 1人
- ・その他 1人

(5) 令和5年度、令和6年度1月までの相談ケース概要

| 事業対象外 | | | | | |
|-------|----------|-----|----|---|------|
| | 相談 受付 | 年代 | 性別 | 概要 | 対応 |
| 1 | R5 | 80代 | 女 | 独居。H30夫の老健入所後スタッフに対して暴言を吐く等精神不安定。その後も妄想症状あり。家族は専門医受診を強く希望したが本人は拒否。認知症疾患医療センター、包括、市で訪問し事業対象とするか検討。包括と認知症疾患医療センターへの同行受診に繋がり、通常支援での対応となった。その後介護認定、成年後見制度の利用につながった。 | 通常支援 |
| 2 | R5 | 80代 | 女 | 独居。甲状腺がんで定期的に内科通院。家事全般、金銭管理は自立。R3から幻視の症状あり。曜日やスケジュール管理の困難あり。認知症に関する受診なし。包括が専門医受診勧めたが本人拒否。家族が同行し精神科を受診したが、受診した病院で対応困難となり他院での検査を勧められた。その後は未受診のまま経過。一度病院受診につながったことから事業対象外として、通常支援での対応となった。 | 通常支援 |
| 3 | R6 | 80代 | 女 | 独居。要支援1。認知症以外の健康状態から介護サービスを利用していたが、物とられ妄想等の症状が出現し、専門医受診やサービス利用を拒否。家族が支援困難を訴えケアマネに相談。認知症疾患医療センターの早期受診が可能となったことから、家族の意向も踏まえ、包括および認知症疾患医療センターによる通常支援での対応となった。 | 通常支援 |
| 4 | R6 | 80代 | 女 | 独居。要支援2。狭心症で内科通院中。家事全般、金銭管理も自立。H27年頃から幻聴の訴えあり。主治医から精神安定剤を処方され、精神科受診を勧められるが拒否。自宅の老朽化から転居および施設入所の希望あり、自ら介護保険を申請し、ショートステイを利用。認知症疾患医療センター、包括、市で事業対象となるか検討。介護サービス利用につながり、高齢者施設への入所も検討中であることを踏まえ、通常支援での対応となった。精神科受診については認知症疾患医療センターと連携しながら支援を進める予定。 | 通常支援 |

| 事業対象 | | | | | |
|------|----------|-----|----|---|--------------|
| | 相談 受付 | 年代 | 性別 | 概要 | 対応 |
| 1 | R6 | 70代 | 男 | 妻と同居。要介護2。交通事故による外傷性くも膜下出血等の既往あり。眩暈の症状あるが未受診。階段踏み外すなど転倒の場面増え、家に閉じこもりがち。宅配サービスを利用しビールを箱買いし、妻が不在時は昼から飲酒。妻に対してどなることが多くなった。妻は服薬管理や金銭管理、親の介護、週2回の就労で介護負担大。精神医療受診、専門医受診、妻の介護負担軽減を進めるため事業対象者として支援開始するが、専門医受診予定を控え、自宅で転倒。函病に救急搬送され高橋病院に入院。経鼻経管栄養中で在宅生活困難なため、介護医療院への入所検討中。 | 支援継続か 検討中 |
| 2 | R6 | 80代 | 男 | 独居。認知症に関する受診なし。水道、光熱費等は頻繁に未払い。自宅は不衛生。年金、生活保護費が入るとパチンコ、競輪に使う。2年間入浴なし。食事摂取せず過ごすことも多く、やせ。介護者の妹は本人の病院受診希望。事業対象者として、7月18日初回訪問。9月6日チーム員会議実施。認知症疾患医療センターの受診、介護認定、介護サービスの利用、成年後見制度の利用につながり、現在も在宅生活を継続中。 | 支援中 |